



### 道立図書館アートトラベル「館内の芸術品で北海道の美術をたどる」

当館には、昭和42年、江別市に移転した際の新館落成祝いに寄贈されたもの、施設の一部として設置されたものなど、さまざまな芸術作品があります。

それらの作品をたどるツアーを行いました。（詳細は特集1でご紹介します。）

## 目次

- ▶ 特集1 「道立図書館で楽しむ芸術の秋」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
- ▶ 特集2 「道立図書館まつりは中止となりましたが…」・・・・・・・・・・ 3～4
- ▶ 図書館紹介「図書室から図書館へ ～開館1年を迎えて～」・・・・・・・・ 5～6
- ▶ 活動報告
  - 「館内イベント」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～9
  - 「連携事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～11
  - 「展示を振り返って」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12～14
  - 「令和元年度（2019年度）全道図書館専門研修」・・・・・・・・・・ 15～17
- ▶ 令和元年度（2019年度）北海道図書館協議会・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ▶ 令和元年度（2019年度）
  - 全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰・・・・・・・・ 19
- ▶ 令和元年度（2019年度）下半期の事業一覧・・・・・・・・・・・・・・ 20～21
- ▶ 令和2年度（2020年度）事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- ▶ 掲示板・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

## 道立図書館で楽しむ芸術の秋

北海道立図書館アートトラベル「館内の芸術作品で北海道の美術をたどる」

- 日 時：令和元年（2019年）10月20日（日） 13：30～15：30
- 会 場：会議室、エントランスホールなど
- 内 容：

当館には、絵画や彫刻などの芸術作品があります。これらの作品について、作者のプロフィール等の説明を添えて、ゆっくり鑑賞しながら館内を巡っていただくアートトラベルを開催しました。

9月23日の「図書館まつり」の催しの一つとして実施する予定でしたが、台風による荒天に備え一端中止とした後、参加予定であった22名の方を対象に改めて実施する旨をお知らせしたところ、13名もの参加をいただくことができました。



坂本直行作「晩秋の原野から見た中部日高山脈」について解説

旅の起点は会議室で、坂本直行の油彩画など6作品について説明するとともに、これらの作品に関連する図書資料などを展示し手にとってご覧いただきました。その後、正面玄関から外に出て町村金五元知事の揮ごうによる石碑を、館内に戻ってエントランスホールでは館紀、ブロンズ像3点、レリーフ1点の合わせて5作品を、続いて北方資料コーナーや北方資料室で書画など4作品をご覧いただきました。更に第一書庫に入っただき、巡ってきた芸術作品や本道における芸術に関する資料を紹介しました。最後に会議室に戻り、芸術作品のいくつかは昭和42年の新館落成記念として収蔵していることから、新館建築のきっかけの一つとなった、栗田ブックセンターからの大量



館紀（中野北溟揮ごう）を鑑賞中

寄贈の経緯についても合わせて説明を行い、終了しました。

参加者からは「道立図書館には何度も来ているのに、美術作品には意外と気づけなかった」、「今回のツアーでアートも楽しめることがわかった」などの声が寄せられました。天候にも恵まれ、好評のうちに終了しました。

（北方資料サービス課）

## 書庫ツアー「音楽への誘い」

■ 日 時：令和元年（2019年）

11月3日（日） 14：00～16：00

■ 会 場：研修室、第一書庫、第二書庫

■ 内 容：

「音楽への誘い～芸術の秋 書庫ツアー～」と題して、19名の方にご参加いただきました。

最初に、国立国会図書館デジタル資料送信サービス「歴史的音源」のサービスを説明した後、館内各所を観覧しました。なお、ツアーに当たっては、各所に音楽関係の資料を配置し、音楽記号についての解説などもあわせて行い、音楽資料への関心を促すよう配慮しました。

主に図書を収蔵している第一書庫では、『こども音楽館』や『全音歌謡曲全集』などを紹介し、各階の概要を説明しながら案内しました。北方資料を説明する際には、CD『「アイヌ神謡集」をうたう』の一部を流して聞いていただき、大変好評でした。今回は『宝塚』関連の雑誌に重点を置き、主に雑誌・新聞を収蔵している第二書庫では、『宝塚グラフ』、『宝塚歌劇』、『宝塚歌劇 プログラム』、『宝塚歌劇 脚本集』、『歌劇』、『歌劇グラフ』などを紹介しました。その時々スターが表紙を飾っていて、参加者は興味深そうに手にとって見入っていました。昨年10月に亡くなられた八千草薫さんが宝塚に所属していたころの懐かしい新聞記事も紹介しました。



終了後に行ったアンケートでは、「説明がわかりやすく大変良かった」、「普段見ることのできない書庫を見ることができた」、「とても興味深く見せていただきました」などといった感想をいただきました。音楽関係の説明を交えながら、書庫全体の説明をわかりやすく説明したのが高評価につながったようでした。

（一般資料サービス課）

## 道立図書館まつりは中止となりましたが…

令和元年（2019年）9月23日（月・祝）に開催を予定していた道立図書館まつりは、台風17号の接近の影響で荒天が予想されたため、やむなく前日22日（日）に中止の決定をしました。

道立図書館まつりで予定していた次の事業のうち日程調整のついたものについては、改めて開催しましたので紹介します。

- (1) 朗読ユニット ふたりしずか朗読会（令和元年11月30日（土）開催）
- (2) オリジナル土偶をつくろう！（令和元年12月21日（土）開催）
- (3) サイエンスカーがやってきた！（中止）
- (4) ブックシェアリングによる古本市（中止）
- (5) セラピードック体験会（中止）
- (6) 北菓楼菓子特別販売（中止）
- (7) 北星学園大学の学生によるパネルシアター（令和元年9月22日（日）開催）
- (8) 北海道立図書館アートトラベル「館内の芸術品で北海道の美術をたどる」（令和元年10月20日（日）開催） ※詳細は特集1で紹介

### 北星学園大学の学生によるパネルシアター

- 日 時：令和元年（2019年）  
9月22日（日）15:00～15:20
- 会 場：えほんコーナー
- 内 容：  
北星学園大学心理・応用コミュニケーション学科の実習生10名が、二つのパネルシアター作品を上演しました。実習生は、道立図書館まつりに向けて準備・練習のために集まっていたのですが、中止の決定を受けて急きょ本番に臨みましたが、緊張した様子も見られましたが、歌を歌ったり声色を変えたりと練習の成果を発揮し、当日来館していた子どもたちに楽しんでもらいました。この実習は、5月から9月までにおよそ80時間、当館の業務体験等を行ったものです。



## 朗読ユニット ふたりしずか朗読会

■ 日 時：令和元年（2019年）  
11月30日（土）13：00～15：00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

朗読ユニットふたりしずか（朗読：熊谷百合子様、杉浦貴子様）の朗読をフィンランドの民族楽器カンテレの演奏（演奏：八島紫帆様）とともに上演しました。



朗読した作品は次の5作品。藤沢周平作「枯野」、黒木あるじ作「機織桜」、角田光代作『「口紅のとき」より29歳、38歳』、芥川龍之介作「魔術」、竹西寛子作「椿堂」。

当日の参加者は46名。道立図書館へ初めて来館された参加者も多く、「カンテレの音が心地良く、お話の世界に引き込まれた」などの感想があり大変好評でした。

## オリジナル土偶をつくろう！

■ 日 時：令和元年（2019年）12月21日（土）14：00～15：00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

北海道埋蔵文化財センター坂本尚史様を講師に土偶について学ぶとともに、ウッディねんどを使って自分だけの土偶づくりを体験しました。

参加者は小学生とその保護者28名。子どもも大人もねんどを使った土偶づくりに熱中していました。参加者からは「大変楽しかった」「他の体験教室があればまた参加したい」との感想がありました。



(事業運営プロジェクトチーム)

## 図書室から図書館へ ～開館1年を迎えて～

足寄町図書館「ルイカ」 館長 村上 賢治

足寄町図書室の歩みは、昭和37年に建設された足寄町公民館の2階に公民館図書室として設けられて、その一步を踏み出し、その後、昭和58年に新たな町民の生涯学習活動や大規模集会施設として「足寄町民センター」が建設されたと同時に図書室も移設されました。しかし、時の経過とともに施設は老朽化し蔵書スペースの狭隘化も顕著になり、気が付けば蔵書数・床面積ともに十勝管内最下位



となっていました。このような状況下において足寄町民が図書室に持つイメージは、単に本好きな人に無料で本を貸し出す場所、生徒が勉強しにくい場所というのが圧倒的でありました。また移住者の方々からは図書館のない町として大きなブーイングをいただいております、教育委員会職員一同、肩身の狭い思いをしておりました。そんな折、老朽化した町民センターの大規模改修という絶好のチャンスが訪れ、長年の悲願であった単独図書館建設は叶わなかったものの図書室の図書館化へと大きく動き出すこととなりました。

念願の図書館開館に向け社会教育委員の会議の下部組織として「足寄町民センター改修検討部会」を立ち上げ、図書館が地域や住民にどのように貢献できるのか、どうしたら「役に立つ図書館」となり得るのか等の検討を進め「広がる笑顔、広がる活動、みんなが集う憩いの施設」と位置づけた



図書館としての機能も併せ持つ複合施設としての町民センターの大規模改修がスタートしました。

改修工事は平成29年度に着手し順調に進んでおりましたが、胆振東部地震の発生により厚真町の職人さんをお願いをしていた足寄町図書館のシンボル「大きな木のオブジェ」が完了の目途がたたなくなる事態となりました。しかし自らも被災した身であるにも関わらず足寄に駆けつけ開館に間に合わせていただき、無事に平成30年11月18日に町民待望の図書館を開館することができました。

さて前置きが大分長くなりましたが、本町の図書館は図書室時代の約4.2倍となる約600㎡の面積で複合施設となる町民センターの2階に位置し、「読み物コーナー」「調べもの・学習コーナー」「絵本・おはなしコーナー」「雑誌・視聴覚コーナー」の4コーナーで構成されております。

特徴的なものとしては、施設全体にエアコンを配備し夏でも快適に過ごせるようにしたこと、2階に子ども用トイレを設置するとともに、おはなしコーナーを他コーナーから距離をとり、赤ちゃんや幼児が騒いだりぐずったりしても気にすることなく利用できる配置としたこと、また施設はRC造ではあるものの木の温もりが感じられる内装・備品にこだわったことなどがあげられると思います。

道内図書館関係機関各位の絶大なるご指導ご協力により図書館を整備することができましたが、長らく図書館が無い町であったため、町民に図書館へ通う習慣が少なく、当面は新規利用者の獲得が一番の課題であると位置づけ日々試行錯誤を続けております。

最後に足寄町図書館の愛称「ルイカ」はアイヌ語で「架け橋」という意味がありますが、文字通り足寄町図書館が足寄町民そして全道各図書館の架け橋となるような施設になるべく努力して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。



## 館内イベント

### 子ども向け書庫ツアー「図書館のヒミツをさがせ！」

- 日 時：令和元年（2019年）8月9日（金）14：00～15：30
- 会 場：研修室、第一書庫、第二書庫
- 内 容：

小学生の夏休み期間に合わせて、子どもたちが本や図書館を身近に感じられるよう、いつもは入ることのできない書庫や事務スペースを含めた館内を巡るツアーを開催しました。

当日は小学生とその保護者、合わせて18名の参加があり、図書館で読みたい本を探す方法についての説明を行った後、館長室で館長のイスに座って記念撮影、エプロンシアターの実演、大型絵本の説明や、北海道に関する資料を扱っている「北方資料室」の見学など、様々な場所を紹介しながら館内を案内しました。

書庫内では、昭和期に発行された児童書や絵本、漫画雑誌を実際に手に取り、驚きの声があがっていました。普段は見ることのできない図書館のヒミツを、家族での夏休みの思い出の一つとして楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



（一般資料サービス課）

### 講演会・資料で語る北海道の歴史（第20回）「近世蝦夷地における天然痘流行とその対策」

- 日 時：令和元年（2019年）11月16日（土）14：00～16：00
- 会 場：研修室
- 内 容：

この講演会は、北海道史の専門家の講演を通じて、図書館などが所蔵する地域資料を深く知り、広く活用してもらうため、平成17年度から開催しているものです。

第20回目となる今回は、北海道史研究協議会の協力により、同協議会常任幹事で、国立アイヌ民族博物館設立準備室調査官の永野正宏様を講師にお迎えし、37名が参加しました。

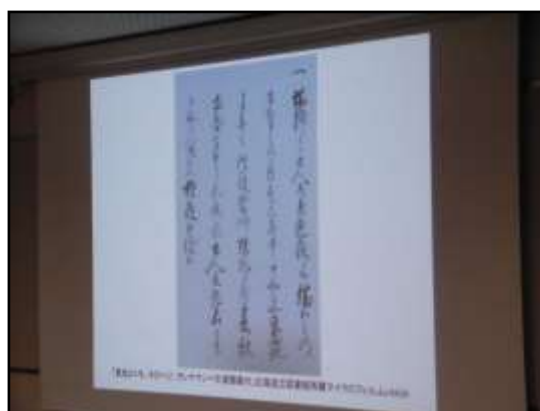
天然痘は、日本では奈良時代以降に、北海道でも江戸時代以降に流行が確認でき、江戸後期のアイヌ人口減少の要因の一つといわれています。

アイヌの人たちは、集落に患者が出ると、山に避難する「山入り」によって感染を予防しようとしていましたが、天然痘対策が成熟していく中で、幕府によって種痘が実施されたこと、また、その際の手続きが、法に基づく義務ではなく、近世社会の特徴ともいえる説諭・理解を経たものであったことなどについて、その裏付けとなる史料を豊富に紹介しながら解説していただきました。

10代の参加者からは「見たことがない絵を見ることができた」との感想を、70代以上を中心とする中高年の参加者からは「史料を用いて興味深い考察を伺うことができた」、「昔の天然痘流行の様子を知ることができた」、「幕府の施策により医師が各地に出向いて種痘をしていたとは驚きだった」などの感想が寄せられ、好評のうちに終了しました。



永野正宏様



古文書はまずゆっくりと読み下し、次に詳しい説明がありました。(写真は、旧南部藩文書『東地エトモホロヘツヲシヤマンヘ引渡諸書付』。当館ではマイクロフィルム版を所蔵しています。)



(北方資料サービス課)

### 「わかりやすい健康に関する情報講座」

平成19年度から開催している連携講座の今回のテーマは、予防医学の観点から「感染症対策」として北海道江別保健所との連携で開催しました。

■ 日 時：令和元年（2019年）12月6日（金）14:00～16:00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

講義「本やインターネットで健康情報を調べよう！

本の探し方～感染症関係を例にして～」

当館一般資料サービス課 藤田 さやか

講演「冬の感染症から身を守ろう！！

～もらわない・うつさない・ひろげない～」

実技「手の洗い残しをチェックしてみよう！」

北海道江別保健所 保健師 尾形 帆南 様

保健師 高張 愛里 様

講義では、健康に関する資料について、書架で探す方法や当館の蔵書検索での調べ方、その他、信頼できるウェブ情報の探し方のコツについて15分ほど説明しました。講座後のアンケートでは、整理の方法がわかり今後調べることが楽になったとの感想がありました。

続いて、北海道江別保健所の保健師2名から、インフルエンザ、ノロウイルスを中心とした感染症予防の講演と手洗いチェッカーを使った手の洗い残しを確認する実技を行いました。

アンケートでは、「普段洗えていないことがわかった」「マスクの着用方法がわかって良かった、実際にやってみて日常に活かしたい」等感想がありました。

質疑応答では、洗い方の細かい部分や実際のノロウイルス罹患時の対処法等、様々な質問が寄せられ、盛況の内に終了しました。講義で紹介した資料や保健所から提供されたパンフレットは、医療健康情報コーナーで展示しています。



医療健康情報コーナー

(一般資料サービス課)

## 連携事業

### ■ 道立図書館・道立近代美術館連携事業

近代美術館に設置している当館の蔵書を紹介するコーナーでは、令和元年（2019年）11月19日から令和2年（2020年）1月13日まで開催された「令和元年度アイヌ工芸品展 アイヌの美しき手仕事」と連携し、北方資料室が所蔵するアイヌの工芸品に関するカラー図録や解説書などを並べ、その美しい技の数々をお楽しみいただきました。また、ウポポイ（民族共生象徴空間）のオープンを半年後に控え、アイヌ文化に対する関心が高まっていることを踏まえて、子ども向けの学習漫画などを含め、アイヌ民族の歴史や文化に関する資料も展示しました。



アイヌの工芸品などに関する資料を展示

また「美しきアイヌの手仕事展」連動企画として、冬休み期間に併せて開催した「ふゆやすみこどものほんコーナー」では、2階ロビー特設コーナーにアイヌ文様や、アイヌの民話・伝説・むかしばなしに関するえほんを並べました。子どもだけでなく、大人も足を止め展示の本をご覧いただき、楽しみながらアイヌ民族の文化について学ぶことができると、大変ご好評をいただきました。



ふゆやすみこどものほんコーナーの本

1月25日から3月15日まで開催の「北海道151年のヴンダーカンマー」においても、北海道の歴史や出来事を楽しく振り返ることができるよう、札幌オリンピック、炭鉱、鉄道などに関する資料を展示しました。

いずれの会期においても、展覧会をご覧になった方々の多くが展示資料を手取る様子が見られました。

（一般資料サービス課・北方資料サービス課）

## ■ 道立図書館・北海道議会図書室連携展示

北海道議会図書室において、当館の蔵書を紹介する展示コーナーを設置しています。

「読んで楽しむオリンピック・パラリンピックの世界」と題し、令和元年（2019年）11月25日（月）から12月13日（木）まで、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催にちなんだ、過去開催されたオリンピックに関する雑誌・写真集、オリンピックにまつわる小説、選手たちに焦点をあてた読みものなど幅広く紹介しました。今後も旬なテーマを考え、展示していきます。



「読んで楽しむオリンピック・パラリンピックの世界」

（一般資料サービス課）

## ■ 資料展示「北海道の灯台展」

令和元年（2019年）11月1日（金）から11月29日（金）までの間、道立生涯学習センター「情報交流広場（まなびの広場）」（札幌市中央区「かでる2・7」9階）において、北海道の沿岸を照らしてきた灯台を中心に、日本や世界の灯台に関する当館所蔵資料約60点を展示しました。



灯台のしくみがわかる本や、灯台に関する小説、絵本などのほか、灯台の風景が印刷された絵はがき、灯台の魅力を伝えるフリーペーパー、灯台の写真が表紙になっている雑誌をパネルで展示し、船舶交通の安全を確保してきた古今の灯台を紹介しました。

彩り豊かな絵はがきや雑誌の表紙に足を止める方も見受けられ、普段は江別まで足を運ぶ機会のない方々にも、当館の資料を知っていただくことができました。

（事業運営プロジェクトチーム）

## 展示を振り返って

令和元年（2019年）9月から令和2年（2020年）2月までに館内で行った展示を紹介します。

### 【一般資料閲覧室】

#### ○「オペラの世界へようこそ」

期 間：9月28日（土）～11月28日（木）

明治27年（1894年）11月24日に、東京音楽学校奏楽堂で明治以降の日本で初めてのオペラ「ファウスト」（グノー作曲）が上演されたのを記念してオペラ愛好家が「オペラ記念日」を制定しました。このことにちなみ、オペラの歴史など、様々なオペラを楽しむための本を展示しました。

#### ○「科学道100冊」

期 間：11月30日（土）～1月30日（木）

理化学研究所と編集工学研究所が行っている、科学道100冊プロジェクトでは科学者の生き方・考え方や科学のおもしろさ・素晴らしさを届ける書籍100冊を紹介しています。この「科学道100」の中から当館で所蔵する資料約80冊を展示しました。



#### ○「柳宗悦と芹沢銈介～道立近代美術館連携展示～」

期 間：12月5日（木）～1月13日（月・祝）

北海道立近代美術館で開催中の「アイヌの美しき手仕事～柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから～」展に合わせ、柳・芹沢の関連本や、柳が創設した日本民藝館についての本を展示しました。

### 【子どもの本コーナー】

#### ○「氷室冴子再び！～氷室冴子青春文学賞関連展示～」

期 間：12月5日（木）～1月30日（木）

岩見沢市生まれの氷室冴子は、『クララ白書』『なんて素敵にジャパネスク』『銀の海金の大地』『海がきこえる』など、数多くの作品を遺しました。本人による小説・エッセイや、作家研究の図書・雑誌とともに、第一回氷室冴子青春文学賞受賞作『虹いろ図書館のへびおとこ』の中で主人公が図書館で会う本たちも展示しました。

### 【えほんコーナー】

#### ○「あこがれのじいちゃんばあちゃん」

期 間：8月31日（土）～10月30日（水）

敬老の日にちなみ、子どもたちから「こんなじいちゃん、こんなばあちゃん、いるといいな～」と思われるような絵本を展示しました。えほんコーナーでは、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に絵本を読む子どもの素敵な姿も見られました。

#### ○「かがくのえほんっておもしろい！」

期 間：11月1日（金）～12月28日（土）



令和元年10月9日に2019年ノーベル賞が発表され、旭化成株名誉フェローで名城大学教授の吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞したことにちなみ、自然や科学など、様々なジャンルの科学の絵本を集めました。子どもだけでなく、大人も興味深い様子で絵本を手にとっていました。

#### ○「猫猫大集合！！」

期 間：12月28日（土）～2月27日（木）

猫の日制定委員会が、昭和62年（1987年）に2月22日を猫の鳴き声「ニャン・ニャン・ニャン」ともじって制定した猫の日にちなみ、猫が登場する様々な絵本を展示しました。

（一般資料サービス課）

## 【一般資料閲覧室北方資料展示コーナー】

### ○「絵はがきでたどる北海道」

期 間：10月4日（金）～1月5日（日）

郵便はがきに絵や写真が印刷された絵はがき、明治33年（1900年）に私製葉書の使用が認められ、その後大流行して一大ブームを巻き起こしました。この展示では当館が所蔵する絵はがきから、道内観光名所の絵はがき、明治42年（1909年）の北海道庁火災などの災害や記念を記録した絵はがき、広告・宣伝を目的とした絵はがきを中心に紹介しました。



函館の風景を写した絵はがきなどを展示

また、北方資料室入口にミニコーナーを設け、絵はがきや展示で紹介した図柄に関連する資料など、貸出可能な資料を展示しました。（10月4日～1月30日）

### ○「時代を駆け抜けた“Civil Engineer” 廣井勇と北海道」

期 間：1月9日（木）～3月29日（日）

数多の才能を生み出した札幌農学校の2期生といえば、内村鑑三、新渡戸稲造、宮部金吾の3人が思い浮かびますが、後に近代土木の父と呼ばれる工学者・廣井勇もまた2期生の一人でした。

本展示では、港湾という北海道の重要なインフラ整備に重要な役割を果たした廣井勇の生涯を軸に、北海道の歴史における炭鉱開発と港湾の物流機能について資料とともに紹介しています。

また、期間中の2月23日（日）には、ギャラリートークとして展示資料を来場者に解説するという初の試みを行いました。当日は、2名の方にご参加いただき、「それまで知らなかった氏の業績や生涯に興味があった」との感想も寄せられました。



（北方資料サービス課）

## 令和元年度（2019年度）全道図書館専門研修

全道図書館専門研修は、図書館運営に関して特定のテーマについてスキルアップを目指すもので、毎年度、異なる4テーマを設定し実施しているものです。今年度は、「経営／企画・広報」（10月9～10日）、「経営／関係法規」（11月20日）、「サービス／地域資料」（12月13日）、「子ども読書／地域支援」（1月17日）のテーマで実施しました。うち2回は、札幌近郊の開催では参加が難しい職員の方々にも参加していただけるよう、帯広市（十勝管内）と新ひだか町（日高管内）で開催しています。

今回は、10月に実施した「経営／企画・広報」がテーマの研修と、11月に実施した「経営／関係法規」がテーマの2つの研修について報告します。

### 【 経営／企画・広報 】

公立図書館は、読書活動の振興を担う機関として、また地域の情報拠点として、利用者のニーズ等に応え、地域の実情に即した運営に努め、その活動について積極的な広報を行うことが求められています。

本研修では、道内のさまざまな取組事例により、図書館サービスを充実させ、利用を拡大していくための企画と広報について考えました。

基調講演では東川町で新たな図書館を作るにあたって、地域の中で図書館と市民の協働をどのように模索してきたかをお話いただきました。

また事例発表として芦別市の「なかそらち図書館ネットワーク」をはじめ、幕別町や滝川市の図書館の取り組みが地域創生やまちの活性化につながっている事例をご紹介いただき、参加者は刺激を受けた様子でした。



基調講演「ボランティアと協働する図書館づくり」



事例発表Part1  
「好評企画！こんなことやりました」

■ 期 日：令和元年（2019年）10月9日（水）～10日（木）

■ 会 場：札幌市中央図書館 3階講堂

■ 参加人数：70名

■ 内 容：

#### [1日目]

基調講演「ボランティアと協働する図書館づくり」 東川町議会議員 鈴木 哉美 様

事例発表 Part 1 「好評企画！こんなことやりました」

発表①テーマ：「なかそらち図書館ネットワーク ～10の市町の協働事業～」

芦別市立図書館管理係長 藤田 伊津子 様

発表②テーマ：「誰もの『居場所』になる図書館」 幕別町図書館主査 民安 園美 様

#### [2日目]

事例発表 Part 2 「好評企画！こんなことやりました」

発表③テーマ：「つながる図書館 ～住民の『いのち』に寄り添う現場との連携～」

滝川市立図書館長 深村 清美 様

発表④テーマ：「道立図書館の工夫あれこれ」

北海道立図書館総務企画部企画支援課長 宮本 浩

#### ■ 事後アンケートから

- ・具体的な事例をたくさん知ることができました。すぐにでも取り入れたいです。
- ・参考になりました。特にイベント内容などは真似したいと思うものばかりでした。
- ・自分の図書館では、なにができるのか考えながら発表を聞きました。その町の事情や人員、予算、様々な障壁があるかと思いますが、まずはできることから始めたいと思います。

#### 【 経営／関係法規 】

この研修会は、公立図書館・図書室が、サービスを展開する上で根拠としている、法規や事例などについての知識を習得することを目的に、「今こそ聞きたい！障がい者読書推進のための関係法規」をテーマに開催しました。

昨年施行された読書バリアフリー法や、著作権法における障がい者の情報アクセスの充実に係る改正など、障がい者の読書活



講義「今こそ知りたい！障がい者関係法規」

動支援に関する法律を学び、その現状や課題について具体的な事例を交えて紹介いただきました。

また、情報交換・ワークショップでは、グループごとに障がい者サービスに対する各図書館が抱える悩みや事例などについて話し合い、最後に発表を行うことで参加者全体での情報の共有を図り、公共図書館に求められる障がい者サービスについて、より理解を深めました。



事例紹介  
「専門図書館に学ぶ、障がい者の読書活動支援事例  
～「キーワード」は点字図書館と公立図書館の連携～」

■ 期 日：令和元年（2019年）11月20日（水）

■ 会 場：帯広市図書館 多目的視聴覚室

■ 参加人数：23名

■ 内 容：

講義「今こそ知りたい！障がい者関係法規」 弁護士法人武部雅充法律事務所 武部 雅充 様  
事例紹介「専門図書館に学ぶ、障がい者の読書活動支援事例  
～「キーワード」は点字図書館と公立図書館の連携～」

社会福祉法人ほくてん北海点字図書館情報支援部長 姉崎 久志 様  
情報交換・ワークショップ「公立図書館における障がい者サービスを考える」

北海道立図書館総務企画部企画支援課主任 足立 早苗

■ 事後アンケートから

- ・あまり自分が分かっていない分野だったのでとても勉強になりました。
- ・障がい者に対するサービス意識が後回しになっていたので、今回の研修で、将来的なことも考えて対策が必要だと考えるきっかけとなりました。
- ・視覚障がい者向けのサービスについて、他の図書館の取組が聴けて勉強になりました。
- ・情報交換で他館の状況などを知ることができてよかったです。

(企画支援課)

## 令和元年度（2019年度）北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- ・ 第1回 令和元年（2019年）7月23日（火）

北海道立図書館研修室 出席委員 8名  
議題 平成30年度業務実績報告について  
その他

- ・ 第2回 令和元年（2019年）11月28日（木）

北海道立図書館研修室 出席委員 8名  
議題 令和元年度事業の実施状況について  
その他

- ・ 第3回 令和2年（2020年）2月26日（水）

北海道立図書館研修室 出席委員 6名  
議題 令和2年度北海道立図書館運営計画について  
その他

- 谷垣徳篤委員（北海道PTA連合会事務局長）の令和元年（2019年）6月3日付け辞任に伴い、平田弘子委員（同連合会事務局次長）が6月20日付けで就任されました。

- 協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。

北海道立図書館ホームページトップ>道立図書館について>道立図書館協議会

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

(管理課)

令和元年度（2019年度）  
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

（公社）読書推進運動協議会では、「読書週間」事業の一つとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と併せて独自に北海道表彰を行っており、平成29年度（2017年度）に新設した北海道表彰奨励賞も加えて、次の皆様が受賞されました。

■ 全国表彰（1団体）

- ・読み聞かせサークル おはなしの木  
中標津町 平成6年設立

■ 北海道表彰 本賞（5団体）

- ・E絵本くらぶ 千歳市 平成20年設立
- ・日本の古典を読む会 新ひだか町 昭和45年設立
- ・絵本読み語りグループ「マシュマロ」 函館市 平成8年設立
- ・読書ボランティア「おはなしの森ひなた」 苫前町 平成15年設立
- ・絵本文庫「屯」 網走市 平成7年設立

■ 北海道表彰 奨励賞（1団体）

- ・フリーリング絵本部「ファンタジア」 札幌市 平成27年設立

※ 「北海道表彰 奨励賞」では、自主的・積極的な活動を行い、今後の活発な活動が期待される活動歴が5年未満の優良読書グループを表彰しています。



2019・第73回読書週間ポスター  
（公益社団法人読書推進運動協議会）

受賞グループの詳細について

北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第35号に、受賞グループの寄稿文が掲載されています。

『北読進協だより』は北海道立図書館ホームページからご覧いただけます。

北海道立図書館ホームページトップ>関係団体等>北海道読書推進運動協議会

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qulnh00000000eww.html>

（企画支援課）

## 令和元年度(2019年度)下半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	北日本図書館連盟研究協議会兼全道図書館専門研修(経営/企画・広報)	令和元年10月9日～10日	札幌市 (札幌市中央図書館)	公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等、学校図書館等向け研修	70名	テーマ:「アイデア+アクションーみんなの力で図書館は進化するー」
2	北海道立図書館アートラベル「館内の芸術品で北海道の美術をたどる」	令和元年10月20日	北海道立図書館	館内に展示されている道内出身の芸術家による美術作品を紹介することにより、道内の芸術及び芸術家に対する興味を喚起する。	13名	
3	資料展示「北海道の灯台展」	令和元年11月1日～29日	札幌市 (かでの2・7)	およそ150年にわたって北海道の沿岸を照らしてきた灯台を中心に、当館が所蔵する日本や世界の灯台に関する資料を紹介。	5,243名	参加人数は期間中のまなびの広場入場者数
4	第2回書庫ツアー	令和元年11月3日	北海道立図書館	普段は入れない書庫をご案内しながら、芸術の秋にちなみ、音楽分野の本を中心に紹介。	19名	
5	北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館長会議	令和元年11月8日	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議及び講話	51名	講話:「これからの図書館をつくる～未設置自治体での図書館整備と、これからの公共図書館～」 講師:新出氏 (宮城県富谷市教育部生涯学習課図書館開館準備室参事)
6	講演会・資料で語る北海道の歴史(第20回)「近世蝦夷地における天然痘流行とその対策」	令和元年11月16日	北海道立図書館	近世期の蝦夷地における天然痘流行や種痘実施の歴史を、アイヌの人たちに着目して振り返る。	37名	
7	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①令和元年11月19日～令和2年1月13日 ②令和2年1月25日～3月15日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介 ①-1「深める・親しむ アイヌの美しき手仕事展～北海道立図書館の蔵書から～」 ①-2「ミニアトリエ ぬり絵と切り絵であそぼう！」 ②「北海道151年のヴンダーカンマー」	—	
8	全道図書館専門研修(経営/関係法規)	令和元年11月20日	帯広市 (帯広市図書館)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	23名	テーマ:「今こそ聞きたい!障がい者読書推進のための関係法規」
9	「発見・体験 文化の秋～遊ぼう!学ぼう!あつべつ・えべつ」	令和元年11月24日	札幌市 (サンピアザ光の広場)	かるちやるnet主催イベント。(大型絵本、しかけ絵本、木育の本展示、クイズラリー、ワークショップ等の体験型イベント)	—	かるちやるnet (文化施設連絡協議会) <a href="http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultural-net/">http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultural-net/</a>
10	北海道立図書館・北海道議会図書室連携企画展示事業	令和元年11月25日～12月13日	札幌市 (北海道議会図書室)	道政にかかわるテーマで、当館と道議会図書室の資料を併せて展示 「読んで楽しむオリンピック・パラリンピックの世界」	—	

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
11	ふたりしずか朗読会	令和元年11月30日	北海道立図書館	朗読ユニットふたりしずかによる朗読会。フィンランドの民族楽器カンテレの演奏とともに藤沢周平「枯野」など5作品を鑑賞した。	48名	図書館まつり代替事業
12	わかりやすい健康に関する情報講座	令和元年12月6日	北海道立図書館	江別保健所保健師による冬の感染症から身を守るための講演、手洗いの実技と、当館職員による感染症を中心とした本の探し方の紹介で、感染症についての知識を深める。	16名	
13	全道図書館専門研修(サービス／地域資料)	令和元年12月13日	新ひだか町 (新ひだか町図書館)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	14名	テーマ:「連携で叶える!ーわがまちの地域情報を発信ー」
14	道立埋蔵文化財センター体験教室「オリジナル土偶をつくろう!」	令和元年12月21日	北海道立図書館	道立埋蔵文化財センター講師により、土偶とはどのようなものなのかという解説のあとウッティねんどを使っての土偶作り体験を行った。	28名	図書館まつり代替事業
15	全道図書館専門研修(子ども読書／地域支援)	令和2年1月17日	北海道立図書館	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等向け研修	66名	テーマ:「基礎から学ぼう!ーアイヌの物語と絵本の読み聞かせー」
16	利用講座「映像によみがえる北海道～1966年の映像資料からみた「札幌まつり」～」	令和2年2月22日	北海道立図書館	「ふるさと動画DVD」の中から、「札幌のまつり」(1966年)を上映するとともに、札幌神社の成り立ちと北海道神宮と改称されてから今日までの境内や札幌まつりの移り変わりをたどる。	35名	北海道博物館第16回企画テーマ展「北海道神宮」の連携行事として実施

## 令和2年度（2020年度）事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			大型えほん展示（下旬～5月上旬） 子ども読書の日（23日） こどもの読書週間（4/23～5/12） 北図振 第1回理事会・総会（24日 札幌市） 図書館記念日（30日）
5	北学図 定期総会（9日 札幌市） 図書館振興の月		全公図 第1回理事会（29日 東京都） 北読進協 総会（札幌市）
6		北図振 全道図書館新任職員研修会（11～12日 当館） 北日図連 北日本図書館大会（18～19日 宮城県多賀城市） 日図協 公共図書館部会総会、代議員総会（東京都）	第1回北海道図書館連絡会議 全公図 定期総会（26日 東京都）
7	北図振 全道図書館中堅職員研修会（9～10日 当館） 北図振 管内図書館振興協議会等地方研究集会（7～2月 各管内で開催）		第1回北海道立図書館協議会
8	子ども向け書庫ツアー（5日）		
9	北図振 北海道図書館大会（3～4日 札幌市）		道立図書館まつり（26日 予定）
10			北図振 全道図書館専門研修（子ども読書／学校支援）（22日 北見市） 北日図連 北日本図書館連盟研究協議会（22～23日 山形県山形市） 読書週間（10月27日～11月9日） 文字・活字文化の日（27日） 北図振「北海道の図書館-令和2年4月現在-」発行 日図協 全国図書館大会（29～30日 和歌山県） 道民カレッジ連携講座（北方）
11	北読進協 優良読書グループ表彰 図書館総合展（4～6日 横浜市） 書庫ツアー	北日図連 北日本図書館地区別研修会（秋田県秋田市） 北図振 第2回理事会全道図書館長会議（20日 札幌市）	第2回北海道立図書館協議会 北図振 全道図書館専門研修（経営／企画・広報）（26日 岩見沢市）
12	北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール表彰式（6日 札幌市） 道民カレッジ連携講座	北図振 全道図書館専門研修（サービス／レファレンス）（10～11日 当館）	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座（6～8日 札幌市）	日図協 全国公共図書館研究集会（サービス部門総合・経営部門）（14～15日 大阪府大阪市） 北図振 全道図書館専門研修（サービス／資料保存）（15日 当館）	
2	道民カレッジ連携講座（北方）		北日図連 第2回理事会
3		第3回北海道立図書館協議会	

※ 上記の日程は変更になる場合があります。

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会
- ・北日図連・・・北日本図書館連盟
- ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会
- ・日図協・・・日本図書館協会
- ・全公図・・・全国公共図書館協議会

## 掲 示 板

令和2年4月、北方資料室は、道立文書館に移転します。

道立文書館が、赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）の大規模改修およびリニューアルに伴い、赤れんが庁舎から当館の敷地内に移転し、令和2年（2020年）4月、当館の北方資料室との複合施設としてオープンします。

新施設は、平成30年9月7日に建設工事が始まり、令和元年10月25日に竣工しました。

建物は鉄筋コンクリート地上3階建てで、当館と接続する連絡通路により、一般資料閲覧室と文書館及び北方資料室の閲覧室とを行き来できるようになります。

文書館と北方資料室の窓口や閲覧室は隣接しており、北海道に関する両館の資料が1か所で利用できるようになります。

新施設での窓口業務は、4月18日（土）から開始する予定です。

### 北海道立図書館報 第208号

令和2年（2020年）3月25日 発行

北海道立図書館長 岩 渕 隆

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL：011-386-8521（代 表）

ダイヤルイン

386-8531（総務企画部）

386-8522（一般資料室）

386-8523（北方資料室）

FAX：011-386-6906

E-mail：support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ：http://www.library.pref.hokkaido.jp